

首里まちづくり研究会

ちえの
和

(25)

「誰もが気軽に歩けるまちづくり」を目標に、首里の住民と建築士らが集まり、首里のまちづくりに関するさまざまな事業の企画、提案に取り組んでいる。

多くの歴史遺産がある古都首里だが、戦争でほとんどの建造物が破壊された。地域に眠る歴史資源を掘り起こし、内外に首里の伝統文化を発信する活動を通して、地域の活性化を図る。現在、モノレール首里駅や儀保駅からの首里城散策ルートに、地域の歴史資源や亜熱帯植物などを紹介する遊覧説明板の設置事業を

住民主体で地域活性

進めている。

ウタキや御殿跡などの歴史資源、ハイビスカスやソ

テツなど南国独特の花木を紹介した説明板を首里城周辺の四十力所に設置。海外からの観光客のため、英語・中国語・韓国語の訳も記入した。首里のまちを訪れる人が楽しみながら散策で

き、地元の人でも地域を再発見するきっかけをつくるのが狙いだ。

同事業は二〇〇八年、公益信託那覇市NPO活動支援基金の「市民提案・協働型まちづくり助成コース」の援助を受けており、今年三月末までには説明板設置が終了する予定。



首里まちづくり研究会の石崎雅彦理事長（右から2人目）とメンバーら＝首里当蔵町

首里に住み長年伝統行事にかかわってきた石崎雅彦理事長(61)は、「住民が主体となったまちづくりを進めていきたい」と意気込みを語る。

毎年「首里城お水取り行事」のバスツアーを行い、首里城下を巡る散策ツアーなども企画。地域の歴史やイベント情報を盛り込む小冊子「首里かわらばん」も無料発行し、モノレール各駅や首里城公園などに設置している。

●活動DATA●

2007年法人設立。地域情報サイト「e首里ドットコム」を運用している。

現在会員募集中。問い合わせは電話098(886)

8614。ブログはhttp://

happy.ap.teacup.

com/suimachi/